

財産目録（総括）

（令和5年3月31日現在）

更生保護法人 鳥取県更生保護給産会

1 資産の部

（基本財産）

区分	摘要	価額	対照		備考
			期首額	当期増減額	
土地	【建物敷地】鳥取市行徳3丁目815番地611.69㎡	963,500	963,500	0	昭和45.7.1 815番地284番地3.4合筆登記 ※R3.11.12認可変更届
建物	【建物番号1号】鳥取市行徳3丁目815番地鉄筋コンクリート造2階建1階220.8㎡ 2階221.77㎡ 計442.57㎡	0	58,161,889	△ 58,161,889	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 減価償却未経過15,751,653円 は固定資産除去損にて処理
	【建物番号2号】同上所在地所在コンクリートブロック造陸屋根2階建 1階35㎡、2階35㎡ 計70㎡	0	1,984,076	△ 1,984,076	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	鳥取市行徳3丁目815番地鉄骨造3階建 1階280.52㎡ 2階282.09㎡ 3階256.34㎡ 合計818.95㎡	303,592,696	0	303,592,696	令和5年3月10日完成 表題登記令和5年3月20日 令和5年度から減価償却計上
構築物	鳥取市行徳3丁目815番地在ブロック塀高170cm延長2140cm	0	76,400	△ 76,400	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	【地下オイルタンク】 同所在地所在OT-19 1,900ℓ	0	200,000	△ 200,000	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	【塀】同所在地所在 鉄筋ブロック造 高さ120cm 長さ4760cm	0	945,814	△ 945,814	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	【コンクリート舗装】同所在地所在 敷地の一部 93.31㎡	0	393,000	△ 393,000	改築廃棄処理 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	【門扉】同所在地所在 勝手口高さ90cm巾80cm 通用口高さ110cm巾310cm	0	172,186	△ 172,186	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	【自転車置き場兼物干し場】 同所在地所在 鉄筋造鉄板瓦棒屋根 680cm ²	0	620,000	△ 620,000	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 減価償却未経過186,000円は固定資産除去損にて処理

	アスファルト舗装 敷地の一部206㎡	906,400	0	906,400	令和5年3月10日完成 令和5年度から減価償却計上
	門扉 勝手口アコーディオン門扉(アルミ)W340cm H120cm 通用ロステールフェンス門扉W60cm H120cm	234,300	0	234,300	令和5年3月10日完成 令和5年度から減価償却計上
	駐輪場 鉄骨造20台駐輪 16.73㎡	847,011	0	847,011	令和5年3月10日完成 令和5年度から減価償却計上
	LPGボンベ庫 鉄板屋根 7.15㎡	219,593	0	219,593	令和5年3月10日完成 令和5年度から減価償却計上
預金	中国労働金庫鳥取支店(定期預金)	6,000,000	6,000,000	0	口座5040363
	(合計)	312,763,500	69,516,865	243,246,635	

(通常財産)

区分	摘要	価額	対照		備考
			期首額	当期増減額	
現金	手許有高R5.3.31現在	104,949	187,766	△ 82,817	
普通預金	山陰合同銀行鳥取営業部 (普通預金)	2,825,608	10,778,707	△ 7,953,099	口座2140659
振替預金	ゆうちょ銀行広島貯金センター(振替貯金)	8,699	14,217	△ 5,518	口座01470-4-18259
定期預金	ゆうちょ銀行広島貯金センター(定期預金)	0	10,000,000	△ 10,000,000	口座55270-1216552 改築資金にて解約
	鳥取銀行本店(定期預金)	0	10,000,000	△ 10,000,000	口座39242 改築資金にて解約
	鳥取信用金庫本店(定期預金)	10,000,000	10,000,000	0	口座0327732
	山陰合同銀行鳥取営業部(定期預金)	0	10,000,000	△ 10,000,000	口座8965606 運用資金にて解約
遺留金	山陰合同銀行鳥取営業部(普通預金)	202,800	63,800	139,000	遺留金専用口座 口座番号:3980057 4人分
建設積立預金	山陰合同銀行鳥取営業部(普通預金)	0	19,281,097	△ 19,281,097	口座3936666 改築資金にて解約
未収入金	法務省更生保護委託費3月分	151,388	3,506,205	△ 3,354,817	委託費差額88,176円、支援計画34,000円、生活相談894円 フォローアップ事業費28,318円(令和4年度第4四半期分)
短期貸付金	被保護者への貸付	0	5,000	△ 5,000	
車両運搬具	トヨタカローラアクション X 1,500CC	2,051,200	2,051,200	0	減価償却累計額2,051,199円(定額法)
備品(事務用)	カラーコピー印刷機	0	682,650	△ 682,650	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損

	パソコン (富士通 NB55K)	0	152,100	△ 152,100	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	パソコン (NEC LL750DD)	0	152,600	△ 152,600	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	パソコン (富士通 NF50U)	0	133,350	△ 133,350	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	液晶プロジェクター	0	303,450	△ 303,450	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	非常通報装置 (テルウエル)	199,800	199,800	0	6:4 12/12当期減価償却額 33,300円 減価償却累計133,200円(定額 法)
	空気清浄機23畳 (シャープ KI-PX 100-W)	143,000	0	143,000	6:1 12/12当期減価償却23,881 円 減価償却累計額23,881円(定額 法)
備品 (事業用)	冷蔵庫 (厨房)	0	210,000	△ 210,000	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	冷蔵庫 (食堂) (SRHX463G)	0	162,750	△ 162,750	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	32型ワイドテレビ	0	118,000	△ 118,000	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
	卓球台一式	0	151,280	△ 151,280	改築廃棄 令和4年10月19日廃棄処理 備忘1円は固定資産除去損
区分	摘要	価額	対照		備考
			期首額	当期増減額	
	ホシザキティーサーバー	429,000	0	429,000	令和5年度から減価償却
	パナソニック スライド扉冷蔵庫	605,000	0	605,000	令和5年度から減価償却
庭木	草まき・金もくせい・もっこく・終・も くせん・百日紅各1本・さざんか	0	280,000	△ 280,000	改築廃棄 令和4年10月19日280,000円廃 棄処理
無形資産	電話加入権	100,000	100,000	0	回線1 0857-22-4884
美術品	絵画	500,000	500,000	0	
	(特別会計：準備ホーム)				
現金	手元有商	52,242	14,684	37,558	令和5年3月31日現在

減価償却引当金	建物	0	44,394,311	△ 44,394,311	改築にて廃棄
	構築物	0	2,221,395	△ 2,221,395	改築にて廃棄
	車両運搬具	2,051,199	2,051,199	0	
	備品	157,081	2,166,071	△ 2,008,990	非常通報133,200円、空気清浄機23,881円
	(特別会計：準備ホーム)				
未払金	弁当代 (味彩・ライフデリ 3月分)	66,100	0	66,100	弁当代
	(特別会計：改築)				
未払い金	JKA補助金未払い金 ((株)田中建設)	80,000,000	0	80,000,000	令和5年4月5日精算払請求
	TV20台、ケース専用棚他 (K Sソリューション)	808,302	0	808,302	
	(合計)	84,316,614	52,395,852	31,920,762	

以上差引 (正味財産)

337,393,371 円

3 借入不動産の部

区分	摘要	所有者	借用期限	賃借料	評価額	備考
	なし					

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 更生保護事業、公益事業及び収益事業ごとに作成し、別葉として作成すること。

- 3 更生保護施設ごと、一時保護事業所ごと及び連絡助成事業所ごとの区分を明らかにして作成すること。
- 4 「区分」の欄には、貸借対照表に掲げる勘定科目を記載すること。
備品については「事務用」及び「事業用」の区分を括弧を付して記載すること。
- 5 「摘要」の欄には、種類、数量等財産の内容を具体的に記載すること。
- 6 「1 資産の部」の「価額」の欄には、取得価額を記載すること。
減価償却資産については、減価償却状況を「(耐用年数：経過年数) 当期減価償却額、減価償却費累計額」の形式で「備考」の欄に記載すること。
- 7 「対照」の欄は、法第29条第1項の規定により作成する場合及び法第51条による報告に用いる場合を除いて、作成を要しない。
- 8 「当期増減額」の欄に減少額を記載する場合には、金額の前に△印を付して記載すること。
- 9 複数の事業の用に供している財産については、当該財産を用いる事業のうち主たる事業の財産目録に記載し、「備考」の欄に兼用する事業の種類を注記すること。
- 10 負債がない場合には、「2 負債の部」にその旨を記載すること。
- 11 借用不動産がない場合には、「3 借用不動産の部」にその旨を記載すること。